

門真市第4期地域福祉計画 進捗状況シート

（令和5年度の取組状況）

目次

基本目標Ⅰ

地域福祉の
コミュニティづくり
(人づくり・地域づくり)

基本施策1 誰もが理解しあい支え合える意識づくり P2

〔児童・生徒に対する福祉に関する学習の機会の充実／福祉課題(障がい・認知症・ひきこもりなど)に係る意識啓発／適切な福祉サービスを利用するためのさまざまな媒体を活用した情報発信〕

基本施策2 地域で活躍する人づくり P3

〔中学校区単位の「地域会議」の活動支援／民生委員・児童委員の活動支援／公民連携子どもの居場所「子どもLOBBY」の提供〕

基本施策3 地域福祉活動の促進 P4

〔校区福祉委員による小地域ネットワーク活動の活動支援／認知症の方の生きがいある生活をめざす、「ゆめ伴プロジェクトin門真 実行委員会」との協働による活動の推進／高齢者の見守りネットワークの推進〕

基本目標Ⅱ

包括的な
支援体制づくり

基本施策4 組織横断的な支援体制の整備 P5-6

〔分野を問わない福祉の総合相談窓口であるコミュニティソーシャルワーカー(CSW)の相談支援機能の向上／各分野において相談者の悩みを包括的に受け止め、適切な支援につなげる(子どもの未来応援チーム)／既存サービスでは対応困難な課題を解決するため、新たなサービス・仕組みづくりを進めるためコミュニティソーシャルワーカー(CSW)が中心となり、関係機関と連携し取り組む(門真市障がい者地域協議会)・(地域ケア会議)〕

基本施策5 生きづらさを抱える人への支援 P7

〔相談者の自立に向けた伴走型の支援・就労に不安がある人に向けた社会参加やカウンセリングによる段階的な就労支援／更生の意欲をもつ犯罪をした人等の立ち直りを支援／さまざまな場面で悩みを抱える人の自殺のサインに気づき適切な支援につなぐ 他〕

基本施策6 権利擁護の推進 (門真市成年後見制度利用促進計画) P8

〔各学校において、多文化共生、ジェンダー平等、同和問題等に関する人権教育の実施及び教員に対する研修／障がい者虐待に関する相談窓口の設置など、早期発見・早期解消・虐待再発防止の取組／社会福祉協議会の日常生活自立支援事業(金銭管理)の周知及び利用促進〕

基本目標Ⅲ

安心・安全に地域で
生活できるまちづくり

基本施策7 災害時の安心・安全の仕組みづくり P9

〔防災訓練や防災講話などを通じた防災に関する意識向上、各種啓発／高齢者、障がい者などの支援が必要な人が円滑に避難するための方策の検討／個別避難計画の策定〕

基本施策8 すべての人にやさしいまちづくり P10

〔ICTを活用し、さまざまな行政サービスを気軽に受けられる環境の整備／ごみ出し困難者への支援／防犯に関する意識啓発、防犯カメラの設置〕

基本目標Ⅰ 地域福祉のコミュニティづくり(人づくり・地域づくり)

基本施策1 誰もが理解しあい支え合える意識づくり P44-45

学校教育課

取組項目／身近な地域での福祉教育・福祉学習機会の拡充

取組内容／児童・生徒に対する福祉に関する学習の機会の充実

■ 取組状況

中学校の生徒会と障がい者福祉施設との交流会を実施した。
障がい者福祉施設においても、職場体験学習を実施した。

■ 課題・改善点

福祉教育・福祉学習に関する学校の理解推進と、地域福祉関係機関との連携推進が課題。

■ 今後の方針：継続

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

高齢福祉課

取組項目／地域での福祉活動を促進するための意識啓発

取組内容／福祉課題(障がい・認知症・ひきこもりなど)に係る意識啓発

■ 取組状況

認知症サポーター養成講座の開催や、ゆめ伴プロジェクトなど関係機関との協働による周知・啓発活動を実施。

■ 課題・改善点

市民周知の効果的な方法を検討する。

■ 今後の方針：継続

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

子育て支援課

取組項目／地域福祉の推進につながる情報の発信

取組内容／適切な福祉サービスを利用するためのさまざまな媒体を活用した情報発信

■ 取組状況

- ① 門真市で子育てをする家庭が受けられるサービス等をまとめた『かどま子育て支援マップ』を発行し、市内公共施設等で配布した。
- ② 地域子育て支援センターひよこる〜むがX(旧Twitter)で、イベント情報や市内各園のおたより(園から情報提供のあるものに限る)等を発信した。
- ③ 門真市のInstagram公式アカウントにおいて、なかよし広場や地域子育て支援センターひよこる〜むで行ったイベントの情報を発信した。
- ④ 市民プラザで行われたスポーツレクリエーションフェスティバルにおいて、オレンジリボンキャンペーンや里親制度の周知・啓発を行った。

■ 課題・改善点

提供している情報を受け取ってほしい市民がよく活用している媒体が何かを調査し、より多くの人に情報が届くよう、適切な媒体を使用し情報を発信していく。

■ 今後の方針：継続

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

基本目標 Ⅰ 地域福祉のコミュニティづくり(人づくり・地域づくり)

基本施策2 地域で活躍する人づくり P46－47

地域政策課

取組項目／地域福祉を担う人材の発掘・育成

取組内容／中学校区単位の「地域会議」の活動支援

■ 取組状況

市内6校区の全地域会議が設立し、地域課題の解決に向け、事業に取り組んだ。
全地域会議の代表者が参加する地域会議交流会を開催し、意見交換を行い、各地域会議の情報共有を図った。

■ 課題・改善点

地域活動の担い手や人材の不足。

■ 今後の方針：継続

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

福祉政策課

取組項目／地域福祉を担う人材の発掘・育成

取組内容／民生委員・児童委員の活動支援

■ 取組状況

市及び大阪府民児協連のホームページを適宜更新し、民生委員の仕事内容や制度内容について情報提供や活動PRを行った。また、庁舎内インフォメーションによる民児協PRも行った。

■ 課題・改善点

令和4年12月の一斉改選時に32名であった欠員は、令和5年度末には25名となったものの依然として欠員が生じている。全国的にも民生委員の担い手確保については課題となっているが、門真市においても担い手確保につながるよう、引き続き庁内及び古川橋駅前そよら内インフォメーションなどへの掲示や市ホームページを活用した情報発信を継続する。

■ 今後の方針：継続

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

こども政策課

取組項目／気軽に集える場の創出(交流機会の拡大や社会参加支援)

取組内容／公民連携子どもの居場所「子どもLOBBY」の提供

■ 取組状況

子どもの居場所の時間帯に2,046人の来所があり認知度が向上してきているのが伺える。また、8名の不登校児童支援を行い、毎週日曜日に開催しているキャリア教育イベントは376名の受講があった。

■ 課題・改善点

令和5年度の非認知能力向上プログラムの受講者が30名に留まったため、より本プログラムの周知を図る必要がある。

■ 今後の方針：継続

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

基本目標Ⅰ 地域福祉のコミュニティづくり(人づくり・地域づくり)

基本施策3 地域福祉活動の促進 P48-49

福祉政策課

取組項目／団体への活動支援

取組内容／校区福祉委員による小地域ネットワーク活動の活動支援

■ 取組状況

市社協に小地域ネットワーク活動推進事業補助金を交付し、市内15地区の校区福祉委員会による住民主体の活動を展開することにより、高齢者や障がい者(児)、子育てに支援が必要な人等が地域の中で孤立することなく、安心して生活できるよう取り組んだ。

グループ援助活動参加者数 34,679名
個別援助活動参加者数 9,143名
認知症サポーター養成講座2回 参加者数 54名
精神障がい者理解促進事業2回 参加者数 34名
小地域ネットワーク活動リーダー研修会 1回 参加者数 9名
災害・防災研修会 1回
参加者数 29名
地域力アップ研修会 1回
参加者数 31名

■ 今後の方針：継続

■ 課題・改善点

・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類へ移行したことにより、多くの校区がサロンや交流活動を再開したため、グループ援助活動参加者は増加した。一方で、現在も新型コロナウイルス感染症への感染を危惧し参加できていない方がいるため、そのような方が安心して参加できるよう、引き続き事業実施団体である社会福祉協議会と連携し、屋外での活動も取り入れるなどの参加促進を図る。
・個別援助活動については、現在、対象者の大半が高齢者であるため、障がい者や子育て中の親子などを対象とした活動に係る情報提供を行うなど、多様な人が活動しやすい環境の整備に努める。

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

高齢福祉課

取組項目／ボランティア活動の推進

取組内容／認知症の方の生きがいある生活をめざす、「ゆめ伴プロジェクトin門真実行委員会」との協働による活動の推進

■ 取組状況

イベント(RUN伴プラス門真)の実施や、ゆめ伴サロンや認知症カフェの開催など、認知症地域支援推進員も参画しながら取り組んでいる。

■ 今後の方針：継続

■ 課題・改善点

さらなる活動の推進をめざし、協働していく。

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

高齢福祉課

取組項目／身近な地域での見守り、支え合い活動の促進

取組内容／高齢者の見守りネットワークの推進

■ 取組状況

新たに民間企業2社と高齢者見守り協定を締結し、異変のある高齢者を発見した時には高齢福祉課に連絡が入るシステムを構築している。

■ 今後の方針：継続

■ 課題・改善点

協定締結している企業と横のつながりをもつための連絡会の実施ができていない状態であるため、実施できるよう努める。

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

基本目標Ⅱ 包括的な支援体制づくり

基本施策4 組織横断的な支援体制の整備 P50－51

福祉政策課

取組項目／相談対応力の向上

取組内容／分野を問わない福祉の総合相談窓口であるコミュニティソーシャルワーカー(CSW)の相談支援機能の向上

■ 取組状況

8050問題やひきこもり、ひとり親家庭の親子など、さまざまな課題を抱えた要支援者に対し、課題整理や関係機関との連携による支援、引き継ぎ等、専門的な相談支援を行った。

また、ケース会議や地域福祉の担い手で構成する地域福祉連絡会を開催し、専門機関との連携強化を図り、要支援者に対する見守り・相談・つなぎのセーフティネット体制づくりに努めた。

相談受付延べ件数 456件

■ 課題・改善点

本事業の相談者の多くが生活費に関する相談などの生活困窮を背景とした課題を抱えており、本事業と同様に社会福祉協議会に委託している生活困窮者自立相談支援事業との連携を図ることで、要支援者の包括的な支援が可能となり、円滑な課題解決を図ることができた。

課題としては、ひきこもりや介護、医療や各種福祉サービスに繋がっていないなど、問題が複合化しているため、関係機関と連携を図りながら、普段から顔の見える関係性をつくっていく必要性がある。

また、新型コロナ特例貸付の償還が開始されたこともあり、生活困窮に関する相談については、特に緊急性

の高いものが多く、CSWに相談があった時点で相談者自身の力では改善が困難な状態になっており、従来の支援の枠組みだけでは対応できない状況が生まれてきている。

行政機関や医療機関などの関係機関等とさらなる連携を図り、要支援者が必要とする支援を迅速に提供できる体制づくりを進めることで、課題解決に努める。

また、相談者に対し、より早い段階でCSWに相談してもらえるよう、本事業の周知をより一層充実させ、福祉のなんでも相談員としての認知度の向上を図ることで、より多くの市民に対して支援を行っていく。

加えて、地域の状況をよく把握している民生委員や校区福祉委員、地域会議や地域の子育てサロンといった社会資源等も含めて、地域のネットワークを強めていくことで、支援を必要とする人を少しでも早く把握できる環境づくりを進めていきたい。

■ 今後の方針：継続（目標達成に向けて順調に進んでいる）

■ 評価：A

こども政策課

取組項目／相談対応力の向上

取組内容／各分野において相談者の悩みを包括的に受け止め、適切な支援につなげる（子どもの未来応援チーム）

■ 取組状況

子どもの貧困対策事業として、「子どもの未来応援ネットワーク事業」を平成29年10月から実施し、支援が必要な子ども等の発見から支援までトータルに対応できるネットワークを市民・企業等と構築している。令和5年度に新たに51世帯の支援に着手し家庭環境の改善に取り組んでいる。

■ 今後の方針：継続

■ 課題・改善点

「子どもの未来応援団員」登録者数が1,600名を超え、情報誌で「子ども食堂」や「宿題カフェ」などの活動を周知したことにより、子どもの居場所で見守りを行う応援団員が増加したことで「子どもの未来応援チーム」に提供される情報も増加した。今後は団体等からの応援団員登録申込だけでなく、市民からの申込を増やすためより市民への応援団員募集の周知に努める。

■ 評価：A（目標達成に向けて順調に進んでいる）

基本目標Ⅱ 包括的な支援体制づくり

基本施策4 組織横断的な支援体制の整備 P50－51

障がい福祉課

取組項目／分野を超えた組織間連携

取組内容／既存サービスでは対応困難な課題を解決するため、新たなサービス・仕組みづくりを進めるためコミュニティソーシャルワーカー（CSW）が中心となり、関係機関と連携し取り組む（門真市障がい者地域協議会）

■ 取組状況

地域協議会は、学識者、医療、保健、福祉、教育に関連する機関の代表者や関係団体の代表者及び行政職員で構成されており、年に4回開催し、ネットワークの構築の強化を図った。

【第1回】①門真市第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の進捗状況 及び門真市第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の策定について②令和4年度相談支援事業実施状況について③令和4年度障害者虐待防止法に係る対応状況について④令和4年度門真市障がい者地域協議会部会の開催実績について⑤障害者優先調達推進法に係る令和4年度の実施状況及び令和5年度の予定について

【第2回】①門真市第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画について②医療的ケア児者等の支援体制について

「【第3回】①門真市第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画（素案）について②門真市第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画（案）に対するパブリックコメントの実施及び今後のスケジュール（案）について

【第4回】①パブコメについて②門真市第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画について③答申について④差別解消法にかかる本市の対応状況⑤地域生活拠点及び日中サービス支援型GHの運営に関する評価について⑥障がい者の理解啓発・促進について

■ 課題・改善点

引き続き、障がい者の理解啓発・理解促進に向けての取り組みを実施し、関係機関との連携をし、ネットワーク強化をさらに進める。

■ 今後の方針：継続

■ 評価：A（目標達成に向けて順調に進んでいる）

高齢福祉課

取組項目／分野を超えた組織間連携

取組内容／既存サービスでは対応困難な課題を解決するため、新たなサービス・仕組みづくりを進めるためコミュニティソーシャルワーカー（CSW）が中心となり、関係機関と連携し取り組む（地域ケア会議）

■ 取組状況

個別の地域ケア会議を実施し、個別の課題から、各地域包括支援センターの圏域ごとの圏域ケア会議を開催して、圏域の課題を積み上げて、市域の地域課題へ発展させ、課題の共有等を行っている。

■ 課題・改善点

地域包括支援センターによって開催回数にバラつきがある。
地域ケア会議において、課題の明確化や参加者との共有等はできているが、解決に向けての取組が不十分である。

■ 今後の方針：改善

■ 評価：B（取組が遅延している）

基本目標Ⅱ 包括的な支援体制づくり

基本施策5 生きづらさを抱える人への支援 P52－53

福祉政策課

取組項目／生活困窮者への支援

取組内容／相談者の自立に向けた伴走型の支援・就労に不安がある人に向けた社会参加やカウンセリングによる段階的な就労支援

■ 取組状況

生活困窮者に対する総合的な相談窓口として「生活困窮者自立相談支援事業」を実施し、一人ひとりに合わせた支援計画を作成し、各種貸付や制度を利用しつつ、自立に向けた伴走型の支援を実施している。また、「就労準備支援事業」では、自力での就職が困難な方に対し、日常・社会的自立から就労までを一貫して支援し、「家計改善支援事業」では、家計改善の専門家がお金のやりくりなどをサポートし継続的に支援している。

■ 今後の方針：継続

■ 課題・改善点

困窮している人が、経済的、精神的に追い詰められてしまう前に支援を受けられるよう、相談窓口の周知に努める必要がある。就労準備支援事業についても、利用者が増えるよう、周知に努める必要がある。

■ 評価：A（目標達成に向けて順調に進んでいる）

人権市民相談課

取組項目／さまざまな自立支援の促進（住まい・再犯防止）

取組内容／更生の意欲をもつ犯罪をした人等の立ち直りを支援

■ 取組状況

令和3年3月に策定した「門真市再犯防止推進計画」に基づき、令和6年1月に、第1回門真市再犯防止推進連絡会議を開催し、関係機関との情報共有を行った。
また、令和6年3月に再犯防止推進検討委員会を書面開催し、「門真市再犯防止推進計画」の進捗状況の報告及び門真市再犯防止推進連絡会議の議事概要について報告を行った。
7月の社会を明るくする運動強調月間、再犯防止啓発月間において啓発活動を実施した。

■ 課題・改善点

引き続き、犯罪被害者支援施策に関する情報の周知啓発を推進するとともに、各種関連団体との情報共有、連携に努める必要がある。

■ 今後の方針：継続

■ 評価：A（目標達成に向けて順調に進んでいる）

福祉政策課

取組項目／自殺防止の推進

取組内容／さまざまな場面で悩みを抱える人の自殺のサインに気づき適切な支援につなぐ 他

■ 取組状況

- ・「門真市自殺対策計画」に基づき、自殺予防に関する施策を実施。門真市社協による役職員向け研修・傾聴ボランティア養成講座・地域力アップ研修会による人材育成を実施。
- ・市民相談事業（こころの相談）にて、心の健康に問題を持つ市民向けに臨床心理士による対面相談を実施。
- ・「こころといのちのSOSガイドブック」を関係機関に広く配布。
- ・「チーム学校」支援体制充実事業として、教職員等を対象としたSOSの受け取り方などの研修を実施した。

■ 今後の方針：継続

■ 課題・改善点

令和2年から令和4年まで自殺者数は高止まりしていたが、令和5年度には減少したものの引き続き更なる対策が求められている。
自殺の要因は多岐に渡るため、誰も取り残されることのない社会づくりを進める観点で、全庁的な対応を促す啓発活動と、関係機関との連携を強化して、引き続き自殺を未然に防ぐ取組を進めていく必要がある。

■ 評価：B（取組が遅延している）

基本目標Ⅱ 包括的な支援体制づくり

基本施策6 権利擁護の推進 P54－57

学校教育課

取組項目／地域における相互理解の促進

取組内容／各学校において、多文化共生、ジェンダー平等、同和問題等に関する人権教育の実施及び教員に対する研修

■ 取組状況

各校の人権教育に関する年間計画に基づいた人権教育を実施
教職員向けの各種人権課題に関する校内研修や市教育委員会主催研修を実施

■ 課題・改善点

取り扱う題材の偏りや、取組に学校や教員の意識差があるため、校区での合同研修を実施するなどし、9年間を見据えた人権教育を推進する。

■ 今後の方針：継続

■ 評価：A（目標達成に向けて順調に進んでいる）

障がい福祉課

取組項目／虐待の早期発見・対応

取組内容／障がい者虐待に関する相談窓口の設置など、早期発見・早期解消・虐待再発防止の取組

■ 取組状況

市町村が虐待防止の主たる担い手となり、本市においても、門真市障がい者基幹相談支援センターを障がい者虐待の早期発見や対応を担う機関（門真市障がい者虐待防止センター）として位置づけている。
令和5年度の虐待相談実件数は43件となり、この内16件が虐待認定され、残りの27件が虐待の事実が確認されない、もしくは判断に至らずとなっている。

■ 課題・改善点

虐待認定されたケースだけでなく、認定されなかったケースも通報に至るまでの何かしらの原因があるため、多くのケースは基幹相談支援センターや各支援機関によるフォロー体制が構築できている。引き続きフォロー体制の構築を継続していく。

■ 今後の方針：継続

■ 評価：A（目標達成に向けて順調に進んでいる）

門真市社会福祉協議会

取組項目／判断能力が十分でない人への支援

取組内容／社会福祉協議会の日常生活自立支援事業（金銭管理）の周知及び利用促進

■ 取組状況

64人の利用者と契約を締結し、金銭管理サービスを含む福祉サービスの利用援助を行った。また、定期的に生活費を利用者へ届ける支援は2,248回を数え、金銭管理を通じて生活の安定を図った。

■ 課題・改善点

利用者の転居等により9件の解約が発生し、一方で新規の利用契約件数は5件であったため、利用者数は前年度と比較して減少した。制度の周知を図り、制度を必要とする市民への支援に繋ぐように取り組む。

■ 今後の方針：拡大

■ 評価：A（目標達成に向けて順調に進んでいる）

基本目標Ⅲ 安心・安全に地域で生活できるまちづくり

基本施策7 災害時の安心・安全の仕組みづくり P58－59

危機管理課

取組項目／災害への備えや支援

取組内容／防災訓練や防災講話などを通じた防災に関する意識向上、各種啓発

■ 取組状況

市広報紙に防災に関する記事を掲載し、防災意識の向上を図るとともに、校区、自治会、地域団体、事業者などにおいて、防災講話や防災訓練を通じて各種啓発を実施した。
また、防災講話と合わせて、大阪府と連携し、密集市街地感震ブレイカー設置支援事業を推進した。

■ 課題・改善点

市全域で幅広く防災意識が向上するよう、規模の大きな防災訓練や防災講話が実施される状況にしていきたい。

■ 今後の方針：継続

■ 評価：A（目標達成に向けて順調に進んでいる）

危機管理課

取組項目／避難行動要支援者の支援

取組内容／高齢者、障がい者などの支援が必要な人が円滑に避難するための方策の検討

■ 取組状況

防災講話や防災訓練を通じて、自助の重要性など各種啓発を実施するとともに、要配慮者が利用するよう配慮者利用施設への避難確保計画について、作成を促した。

■ 課題・改善点

引き続き要配慮者に対し、自助を始めとした各種啓発を実施し、防災意識の向上を目指す。また、避難確保計画に基づく避難訓練について、要配慮者利用施設での防災講話等活用し、施設職員、利用者へ啓発していく。

■ 今後の方針：継続

■ 評価：A（目標達成に向けて順調に進んでいる）

危機管理課・福祉政策課

取組項目／避難行動要支援者の支援

取組内容／個別避難計画の策定

■ 取組状況

庁内会議や関係機関との会議を重ね、今後について協議を行った。

■ 課題・改善点

庁内関係各課において、情報の共有等を開始したが、具体的な役割等決まっておらず、引き続き会議を重ね、役割を決め、外部の関係機関とも調整を行っていく必要がある。

■ 今後の方針：拡大

■ 評価：B（取組が遅延している）

基本目標Ⅲ 安心・安全に地域で生活できるまちづくり

基本施策8 すべての人にやさしいまちづくり P60-61

ICT推進課

取組項目／快適で利用しやすい生活環境の整備

取組内容／ICTを活用し、さまざまな行政サービスを気軽に受けられる環境の整備

■ 取組状況

- ・新たに手続きナビゲーションサイトを開設し、市民がライフイベントに応じて必要な行政手続きや手続を行う場所、持ち物等の事前確認が可能となった。
- ・オンライン申請や市公式LINEの利用範囲の拡充を行い、市民の利便性向上及び業務の効率化を図った。これにより、本市のオンライン化済行政手続数は、47手続から449手続に増加した。
- ・スマホなんでも相談窓口やスマホ教室を実施し、デジタルに不慣れな市民へのサポートを進めた。

■ 課題・改善点

- ・オンライン申請や手続きナビゲーションサイトの利用率の向上のための取組
- ・利用者数(友だち登録者数)を増やすための広報活動
- ・デジタルに不慣れな方でも利用していただけるような分かりやすい仕組みづくり
- ・市民が本当に必要としている情報の把握、効果的な発信
- ・オンライン申請可能手続きの拡充やさらなるLINE機能拡張による市民の利便性の向上

■ 今後の方針：継続

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

クリーンセンター業務課

取組項目／快適で利用しやすい生活環境の整備

取組内容／ごみ出し困難者への支援

■ 取組状況

- ふれあいサポート収集 新規登録者 14人、訪問回数 1,788回
- ひとり暮らし高齢者などの世帯に対し、家庭ごみを玄関先まで戸別に収集に伺い、日常生活上のサポートを行った。

■ 課題・改善点

- 高齢化社会に伴い、今後利用者の増加が見込まれるため、本市の実情を把握しつつ、関係各課との連携・調整、作業人員の適正な配置等制度のさらなる充実化が必要とされる。

■ 今後の方針：拡大

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

危機管理課

取組項目／防犯活動の促進

取組内容／防犯に関する意識啓発、防犯カメラの設置

■ 取組状況

- 防犯カメラの増設(令和5年度50基)及び自治会設置のLED型防犯灯の設置補助を実施し、地域の安全安心なまちづくりへの取組みを実施した。
- また、防犯キャンペーンを市内小学校にて年3回実施し、防犯意識に対して啓発活動を行った。

■ 課題・改善点

- 防犯カメラの増設(令和5年度50基)及び自治会設置のLED型防犯灯設置補助を実施しておりますが、新型コロナウイルス感染症対策が規制緩和などにより、世間的にも流れが出始め、刑法犯罪認知件数増加しているので、新たな意識啓発活動が課題である。

■ 今後の方針：継続

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)